

令和元年5月28日現在

機関番号：32658

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2014～2018

課題番号：26292187

研究課題名(和文) 現代世界の公共日本庭園におけるユニバーサル・マネジメントの研究

研究課題名(英文) Research of Universal Management in Public Japanese Gardens in the Modern World

研究代表者

鈴木 誠 (SUZUKI, Makoto)

東京農業大学・地域環境科学部・教授

研究者番号：40147484

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,100,000円

研究成果の概要(和文)：日本国外で公開されている日本庭園は500以上あり、その内の公共日本庭園は約2/3を占めている。日本国内の公共日本庭園も180余りを確認した。しかし、現代市民社会においてこれら公共日本庭園の存在意義が深く認識されていない。これらの庭園は、市民に有効利用され、適切な維持管理・運営管理がなされているとは言えない。そこで「現代公共日本庭園」の本来の意義を持つ用語として「The Civic Japanese Garden(シビック・ジャパニーズガーデン)」を提案した。また、現地調査・アンケート調査を通じて得られた研究成果から、その意味と活用、運営に有効な知見を、国内外の事例を交えて公表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで海外の日本庭園を対象としてその存在意義、利用・活用、管理運営などについて研究を推進してきた。これら海外の日本庭園の多くが現代に造られた公共の日本庭園であり、現代市民の公共的利用を前提として、公共セクターが設置し管理運営している。同様な現代公共日本庭園は日本にも存在するが、両者共に市民生活の中に溶け込んでいるとは言い難い。そこで、これらの日本庭園の現代市民社会での有効利用と運用を目指し、「シビック・ジャパニーズガーデン」と定義して、その存在意義と利用、運用(マネジメント)について国内学会、国際会議、雑誌論文、Webサイト運用などにより社会発信して各種成果を得た。

研究成果の概要(英文)：There are more than 500 Japanese gardens open to the public outside of Japan, of which approximately 2/3 are public Japanese gardens. The public Japanese gardens in Japan were also confirmed over 180. However, the significance of the existence of these public Japanese gardens is not deeply recognized in the modern civil society. It cannot be said that these gardens are effectively used by the citizens and are properly maintained and managed. Therefore, I proposed "The Civic Japanese Garden" as a term with the original meaning of "contemporary public Japanese garden". In addition, based on research results obtained through field surveys and questionnaire surveys, we published the findings that were effective for their meaning, utilization, and operation, with domestic and overseas cases.

研究分野：造園学

キーワード：日本庭園 庭園管理運営 ガーデンマネジメント 庭園経営 garden management Civic Japanese Garden 庭園文化 造園学

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

これまで、海外の日本庭園を対象として調査研究を続けてきたが、日本国内の現代日本庭園は、同じような研究対象であり、両者をまとめて「現代世界の公共日本庭園」、あるいは「世界の現代公共日本庭園」として総括的に研究する必要性を感じてきた。現代日本庭園の、現代人にとっての公共日本庭園の存在意義の追求と、これらの庭園の現代社会における普遍的な維持・運営管理、利活用方策確立の必要性が研究の背景にあった。

### 2. 研究の目的

伝統的様式により造られた日本庭園の現代社会・国際社会におけるあり方の究明を目的とする。具体的には、日本の国内外において、数多く造園されてきた現代の公共日本庭園を対象として、その存在意義並びに、維持管理・運営管理と利活用の現代社会におけるあるべき姿を調査し整理する。その結果を「現代公共日本庭園のユニバーサル・マネジメント指針」としてまとめ、その活用啓発のため広く社会に発信する。

### 3. 研究の方法

#### (1) 国外における現代公共日本庭園の実態と課題調査（姉妹都市起因の海外の現代日本庭園）

これまで実施してきた海外の公開日本庭園の調査に準じ、あらゆる機会を通じて直接・間接的に各種情報収集に日常的ファイリングに務める。なかでも、日本との交流関係において意義をもつ姉妹友好都市関係にて開設あるいは維持・運営されている日本庭園約 150 庭園を対象として、文献調査、インターネット検索調査、個別庭園の Web サイト調査、アンケート調査などに基づき、庭園詳細、維持・運営管理の実態と課題を把握する。

#### (2) 国内における現代公共日本庭園の実態と課題調査（昭和時代戦後以降の新設日本庭園）

全国の都市公園に公共施設として造園された現代の日本庭園、あるいは植物園などの公共施設に付随して開設された現代の日本庭園の悉皆調査を実施し、作庭場所、作庭年、作庭者、所有者、作庭規模、形式、経緯、作庭主体などと共に、維持管理・運営管理プログラムと方法についてもアンケート調査、ヒアリング調査、現地調査から明らかにしていく。調査結果は、ファイリングしてリスト化し「現代日本の公共日本庭園主要総覧」としてまとめる。

#### (3) 国内外の学協会での発表と現地調査

専門家の集まる日本庭園学会全国大会や日本造園学会にて発表を実施し、専門研究者からの意見を聴取する。同様に国際会議である北米日本庭園協会 (NAJGA) において、日本国内外の現代公共日本庭園を対象とした研究の意義・目的・方法と、研究仮説並びに研究成果の応用について発表する。なお、こうした国内外の学協会への出張の機会に、開催地近隣の公共日本庭園の現地調査とヒアリング調査を実施する。

### 4. 研究成果

「現代世界の公共日本庭園におけるユニバーサル・マネジメントの研究」に関わり、これまでに公表してきた研究成果の要約と、その具体的内容について以下に記す。

日本の国内外において、数多く造園されてきた現代の公共日本庭園を対象として、その存在意義については、まず海外の公開日本庭園 500 余件について整理して紹介した Web サイト「Japanese Gardens Outside Japan 海外の日本庭園」として運営し、その後も随時更新中である。(URL: <http://www.nodaigarden.jp>)

国内の現代公共日本庭園については全国 180 余件を整理し、関東地域の現代公共日本庭園に関する利活用と運営に関する調査研究、東京都内の公開日本庭園 (80 数庭園) の現況調査を進め、その内容を北米日本庭園協会総会 NAJGA2016 (2016 年 3 月、フロリダ・USA) にて発表した。その際に公表したシビック・ジャパニーズガーデン (Civic Japanese Garden) の概念と、その意味である「現代公共日本庭園」に至る歴史的背景は図 1 に示した。(図 1 は当初英語で公表し、その後日本語訳して日本庭園学会全国大会にて提示したもの。発表・論文)

#### (1) 学会発表による研究成果発信

伝統的様式により造られた日本庭園の現代社会・国際社会におけるあり方の究明を目的としたが、まずは現代公共日本庭園の再定義を行った。その成果は「現代公共日本庭園 (Civic Japanese Garden) の意義と役割」として発表した (発表)。

この概念規定 (学術用語の提案) と平行して、その実態把握のため、日本国内においては、調査して整理した全国の公共日本庭園 181 をリスト化した。そしてこのリストを基に、関東地域の公共日本庭園を抽出して、その現況を調査し、さらに東京都内の公開日本庭園 (80 数庭園) の現況調査・現地調査を進め、その内容を北米日本庭園協会総会 NAJGA2016 (2016 年 3 月、フロリダ・USA) にて発表した。この発表はミニシンポジウム形式 (1 セッション 90 分) にて「UTILIZING CIVIC GARDENS IN JAPAN」(発表) と題し、主旨説明のほか 3 つのプレゼンテーション (研究発表) から構成し、参加者たちの理解を得た。また、このセッションの成果の一部は、「Civic Japanese Gardens: the gardens as regional resource and a place for community interaction」として NAJGA Journal に掲載した。(論文)

## 伝統的な日本の庭の所有・管理の歴史の変遷

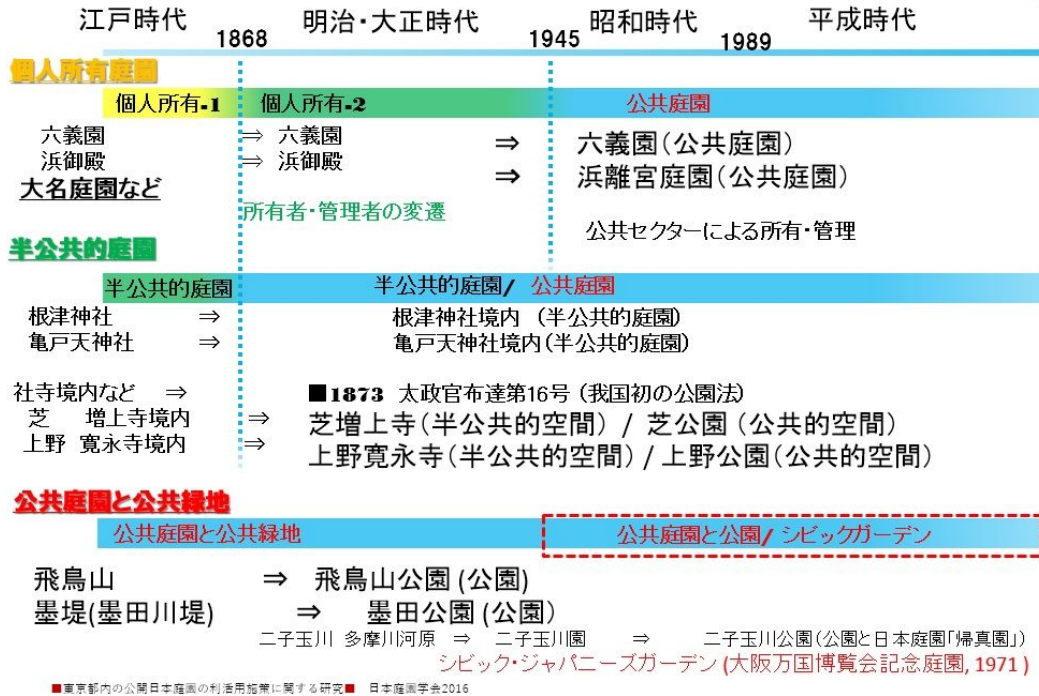


図1. シビック・ジャパニーズガーデンの歴史的背景(鈴木誠、2016)

## (2) 研究成果の社会発信

Webサイト「Japanese Gardens Outside Japan 海外の日本庭園」の基盤更新を実施した。内容は、全庭園一覧ページを簡易に閲覧可能にしたことと、個別庭園の情報内容の更新、新規事例の追補などWebサイトの充実である。また、このサイトへのアクセスを考慮し関連サイトとしてのFacebookページ「海外の日本庭園 Japanese Gardens outside of Japan」(<https://www.facebook.com/nodaigarden>)を開設し運用を開始した。

こうしたインターネットを通じた社会発信のほか、研究成果を(一財)日本造園修景協会の機関誌「造園修景」の誌面にて公表(論文)したほか、専門家に向けての講演会で「シビック・ジャパニーズガーデン」に関わる内容と、そのマネジメントのための重要事項や具体的事例について普及に努めた。(発表、 )

## (3) 研究成果による社会貢献(施策誘導・新規事業支援)

本研究の成果の一部は、平成29年度から開始された国土交通省新規事業「海外日本庭園再生プロジェクト」(平成30年、31年と継続)の企画・運営への支援として実現した。この国土交通省の事業実施を、研究成果の応用として支援したことにより、海外の日本庭園の維持管理・運営管理に関わる研究成果の社会還元が実現された。

研究成果の応用展開として、日本庭園の維持管理に直接的に関係する造園技術者(庭園管理者)の関連団体である(一社)日本造園組合連合会主催の「日本庭園士補」研修講座にて、グローバルな視点からの庭園管理・運営・維持手法の考え方の理念などについて講演した。(鈴木誠:平成30年度「日本庭園士補」認定研修会「世界から見た日本庭園」, 2019年1月19日、東京都立園芸高等学校)。この「日本庭園士」という認定資格は将来的に日本国内外での日本庭園の修復や維持管理に必要なものとして運用される予定である。

海外の日本庭園の維持・運営管理に関し「造園修景」138号(2019.3)特集「海外の日本庭園 これから」の発行を支援し、巻頭言を担当した。(論文 )

研究成果の将来展開として、2018年8月に実施したフランス国内の現代日本庭園の現地調査を契機として、(仮)ヨーロッパ日本庭園ネットワークの設立準備をモレブリエ市(シャバシヨ市長)、ヴェルサイユ高等造園学校(ミズマ博士)などと立ち上げ、ヨーロッパにおける現代日本庭園のユニバーサル・マネジメントの内容充実に努めるべく、2019年5月現在このネットワーク設立に向けた関係機関との協議を実施中であり、2021年までにこのネットワークの実現を目指している。

## 5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 9 件)

- 鈴木 誠 (2019) 海外の日本庭園 これから、造園修景 138、(巻頭言)
- 趙 啓蒙・呂 文静・鄧 舸・真田張 格璋・服部 勉・鈴木 誠 (2018) 現代中国の日本庭園の現況・利用・評価に関する研究、ランドスケープ研究 (査読有) 81 (5) 461-466
- Naoki DONUMA, Makoto SUZUKI (2017), Civic Japanese Gardens: the gardens as regional resource and a place for community interaction, Journal of the North American Japanese Garden Association (査読有), No.4, 68-72
- 牧田 直子・鈴木 誠 (2017) オーストラリアの日本庭園のインターネットを活用した広報の現状と課題、東京農業大学農学集報 (査読有) Vol.62 No.1、21-33
- 早川 佳代、鈴木 誠 (2017) 葛飾区山本亭庭園を活用した伝統的鉢植えによる柴又帝釈天参道の修景活動に関する調査報告、ランドスケープ研究 増刊・技術報告集 (査読有) 第9巻、58-63
- Makoto Suzuki, Kunihiro Sasaki, Tsutomu Hattori, Takashi Awano, Yoshiki Matsumoto, Tsuyoshi Hirasawa, Kwang-pyo Hong, Sang-heun Hur, Ju-han You, Hyukjae Lee (2016), Studies of the Japanese Gardens Created in South Korea: Historical Backgrounds and Significant Characteristics of the Remaining Japanese Gardens, The 15th International Landscape Architectural Symposium of Japan, China, and Korea (Landscape as Urban Infrastructure) Program and Proceedings (査読有), 179-184, ISBN-978-4-9909226-0-3
- 鈴木 誠 (2016) 「日本庭園」象徴と実像～世界無形文化遺産とシビック・ジャパニーズガーデンからの考察～、造園修景、第 131 号、5-11 (査読無・招待論文)
- 牧田 直子、鈴木 誠 (2015) 海外の姉妹都市日本庭園の歴史と日本側自治体から見た現状と課題 (査読付、ランドスケープ研究 (査読有) 78 (5) 483-486
- 栗野 隆, 松本 恵樹, 國井 洋一, 土沼 隆雄, 土沼 直亮, 鈴木 誠 (2015) 旧齋藤氏別邸庭園を事例とした近代和風庭園の保存のための調査・計画手法、ランドスケープ研究増刊 技術報告集 (査読有) 第 8 号、92-97

[学会発表](計 23 件)

- Makoto SUZUKI (2019), Current Status of Public Japanese Gardens in Japan: in relation to registration to the World Heritage Site, NAJGA Board of Directors Meeting on September 30, 2018, Portland, Oregon, USA
- Naoko Makita (2019), The Presentation of Civic Japanese Gardens in Miyazaki Prefecture, The 4th International Conference of North American Japanese Garden Association, Portland, Oregon, USA, 2018.9.30
- 鈴木 誠・藤波 架江 (2018) スウェーデンの都市公園・公共庭園利用と FIKA - 「お茶をする」利用からのシビック・ガーデン、平成 30 年度 (公社) 日本造園学会関東支部大会、宇都宮大学、2108.12.15. 平成 30 年度日本造園学会関東支部大会梗概集 / 事例・研究報告集 Vol.36、12-13
- 藤波 架江・鈴木 誠 (2018) スウェーデンの都市公園・公共庭園利用と FIKA - 公園・庭園利用者へのヒアリング結果と考察、平成 30 年度 (公社) 日本造園学会関東支部大会、宇都宮大学、2108.12.15. 平成 28 年度日本造園学会関東支部大会梗概集 / 事例・研究報告集 Vol.36、14-15
- 平成 30 年度日本造園学会関東支部大会梗概集 / 事例・研究報告集 Vol.36、00-00
- Makoto SUZUKI (2018), Civic Japanese Gardens in Modern Japan. 2018 International Seminar on Japanese Gardens, A Dialogue between East and West, Kyoto University, 2018.2.24 (招待講演)
- 鈴木 誠 (2017) 都市緑化フォーラム 2017 基調講演「おもてなしのみどりと日本庭園」、(公財) 都市緑化機構主催、日比谷コンベンションホール、2017.12.12 [招待講演]
- 鈴木 誠 (2017) 「日本庭園を国際交流の財にする」海外の日本庭園 - その全体像を伝える -、(一社) 日本公園緑地協会・福島民報社主催「海外の日本庭園を学び・考える」国際シンポジウム、福島市わいわいホール、2017.6.1 [招待講演]
- 真田張 格璋、趙 啓蒙、呂 文静、鈴木 誠 (2016) 中国に造られた日本庭園とその利用に関する研究 現地調査概要と庭園概況、平成 28 年度日本造園学会関東支部大会、2106.11.27、東京情報大学、平成 28 年度日本造園学会関東支部大会梗概集 / 事例・研究報告集 Vol.34、71-72
- 趙 啓蒙、真田張 格璋、鄧 舸、鈴木 誠 (2016) 中国に造られた日本庭園とその利用に関する研究 現地調査から得られた利用現況、平成 28 年度日本造園学会関東支部大会、2106.11.27、東京情報大学、平成 28 年度日本造園学会関東支部大会梗概集 / 事例・研究報告集 Vol.34、73-74
- 鈴木 誠、趙 啓蒙、服部 勉、真田張 格璋 (2016) 中国に造られた日本庭園とその利

用に関する研究 現地調査のまとめと課題、平成 28 年度日本造園学会関東支部大会、2106.11.27、東京情報大学、平成 28 年度日本造園学会関東支部大会梗概集 / 事例・研究報告集 Vol.34、75-76

牧田 直子、真田張 格瑋、鈴木 誠 (2016) 東京都内の公開日本庭園の利活用施策に関する研究、平成 28 年度日本庭園学会全国大会、2106.6.12、足利市、平成 28 年度日本庭園学会全国大会シンポジウム・研究発表資料集 76-79

Makoto Suzuki, Naoko Makita, Ko-Wei Chang Sanada, Naoaki Donuma(2016), UTILIZING CIVIC GARDENS IN JAPAN: Traditional and New Events in Tokyo's Public Japanese Gardens (N. Makita), Utilization of Gardens for Annual and Special Events (K. Sanada), Gardens as Regional Resource & Community Nexus (N. Donuma), The 3rd International Conference of North American Japanese Garden Association 2016, Morikami Museum and Japanese Gardens, Delray Beach, Florida, USA, 2016.3.7, 2016 (Panel Session)

真田 張 格瑋、鈴木 誠 (2015) 関東地域の現代公共日本庭園(Civic Japanese Garden)に関する利活用と運営に関する調査研究、平成 27 年度(公社)日本造園学会関東支部大会、2015.11.22、東京都 日比谷公園緑と水の市民カレッジ、平成 27 年度日本造園学会関東支部大会梗概集 / 事例・研究報告集 Vol.33、104 ポスター発表

鈴木 誠、大出 英子、鈴木 寛人 (2015) ドイツにおける日本庭園の歴史と現状、"平成 27 年度(公社)日本造園学会関東支部大会、2015.11.22、東京都 日比谷公園緑と水の市民カレッジ、平成 27 年度日本造園学会関東支部大会梗概集 / 事例・研究報告集 Vol.33、11-12

牧田 直子、大出 英子、鈴木 誠 (2015) ドイツにおける日本庭園と日本の姉妹都市の関係、平成 27 年度(公社)日本造園学会関東支部大会、2015.11.22、東京都 日比谷公園緑と水の市民カレッジ、平成 27 年度日本造園学会関東支部大会梗概集 / 事例・研究報告集 Vol.33、15-16

大出 英子、鈴木 誠、鈴木 寛人 (2015) ドイツにおける日本庭園の作庭経緯と代表事例、平成 27 年度(公社)日本造園学会関東支部大会、2015.11.22、東京都 日比谷公園緑と水の市民カレッジ、平成 27 年度日本造園学会関東支部大会梗概集 / 事例・研究報告集 Vol.33、13-14

Kwangpyo Hong, Makoto Suzuki, Hyukjae Lee, Kunihiko Sasaki (2015) A Comparison Study on the Landscape Components of House Gardens Between Korea and Japan During the Japanese Occupation of Korea; Specifically in "Oeam Village" in Korea and "Matsusiro District" in Japan, ICOMOS-IFLA ISCCL 2015 International Symposium, 11.4, Jeju, Korea (Proceedings p.127)

鈴木 誠・服部 勉・平澤 毅・栗野 隆・佐々木 邦博・松本 恵樹、Hong, Kwang-pyo・Hur, Sang-heun・LEE, Hyukjae (2015) 韓国に造成された日本庭園に関する研究、平成 27 年度日本庭園学会全国大会、東京大学弥生キャンパス、2015.6.14、平成 27 年度日本庭園学会全国大会シンポジウム・研究発表資料集、102-105

鈴木 誠 (2014) 現代公共日本庭園 (Civic Japanese Garden) の意義と役割、平成 26 年度(公社)日本造園学会中部支部大会、長野市松城町、2014.11.23、日本造園学会中部支部大会研究発表要旨集、11号、13-14

Naoko MAKITA, Yoshihiro TAKAHASHI, Makoto SUZUKI (2014) Civic Japanese Gardens in Japan: Modern Japanese Gardens Created by the Japanese Public Sector, The 2nd International conference of North American Japanese Garden Association, Chicago Botanical Garden, Chicago, USA, 2014.10.17

②1 Stephen BLOOM, Diane DURSTON, Sadafumi UCHIYAMA, Makoto SUZUKI (2014) Cultural Crossing: Building the International Institute for Japanese Garden Arts and Culture, The 2nd International conference of North American Japanese Garden Association, Chicago Botanical Garden, Chicago, USA, 2014.10.17

②2 Simon SATOW, Makoto SUZUKI (2014) KISHINEN: Video work of Creating Contemporary Japanese Garden The 2nd International conference of North American Japanese Garden Association, Chicago Botanical Garden, Chicago, USA, 2014.10.17

②3 佐藤 至門、鈴木 誠 (2014) 二子玉川「帰真園」造園過程の映像記録、平成 26 年度日本庭園学会全国大会、平成 26 年 6 月 21 日、新潟市旧齋藤家別邸、平成 26 年度日本庭園学会全国大会シンポジウム・研究発表資料集、50-53

〔その他〕

ホームページ等

「海外の日本庭園 Japanese Gardens Outside Japan」 <http://www.nodaigarden.jp>

## 6 . 研究組織

### (1)研究分担者

無し

(2)研究協力者

研究協力者氏名：服部 勉

ローマ字氏名：(HATTORI, Tsutomu)

研究協力者氏名：牧田 直子

ローマ字氏名：(MAKITA, Naoko)

研究協力者氏名：真田 張 格璋

ローマ字氏名：(SANADA CHANG, Ko-Wei)

研究協力者氏名：土沼 直亮

ローマ字氏名：(DONUMA, Naoaki)

研究協力者氏名：趙 啓蒙

ローマ字氏名：(ZHAO, Qimeng)

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。